



ブロックストレージを管理する Workload Factory for NetApp Console

NetApp
October 07, 2026

目次

ブロックストレージを管理する	1
NetApp Workload Factoryでファイルシステムのブロックストレージを管理する	1
igroupを管理	1
igroupのブロックデバイスを管理する	2
関連情報	5
NetApp Workload FactoryでONTAPレベルのタグをブロックデバイスに適用	5

ブロックストレージを管理する

NetApp Workload Factoryでファイルシステムのブロックストレージを管理する

NetApp Workload Factory を使用して、igroup やブロックデバイスなどのブロックストレージリソースの管理を簡素化し、FSx for ONTAP ブロックデバイスのクライアントアクセスを制御することで、最適なパフォーマンスを実現し、コストを最小限に抑えます。

タスク概要

Workload Factoryコンソールから、イニシエータグループ (igroup) を管理して、クライアントによるブロックデバイスへのアクセスを制御できます。ブロックデバイスの詳細を表示したり、容量を増やしたり、クローンを作成したり、クライアントアクセスを管理したり、非アクティブなブロックデバイスのデータをアーカイブしたり、ブロックデバイスを削除したりすることもできます。

ブロック ストレージ図をチェックして、次の点を確認します：

- クライアント接続
- ブロックデバイスのステータス
- ノードとクライアントの関係
- 不正なクライアント接続の可能性

開始する前に

- igroup を管理するにはリンクを関連付ける必要があります。["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)。リンクを関連付けたら、この操作に戻ってください。
- 表示および管理するには、既存の igroup またはブロック デバイスが必要です。

igroupを管理

igroup の詳細を表示し、クライアントアクセスを管理し、igroup を削除できます。

igroup のクライアント アクセスを管理する

既存の igroup のクライアント アクセスをいつでも管理できます。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. *FSx for ONTAP*から、*ブロックデバイス*タブを選択します。
4. 既存のigroupを表示するには、リソースタイプ イニシエータグループ (**igroup**) を選択します。
5. ブロック デバイスのアクション メニューに移動し、*クライアント アクセスの管理*を選択します。
6. igroup に表示されるクライアント アクセスの詳細を確認します。

7. クライアント アクセスを変更するには、*クライアント アクセスの編集*を選択します。

8. クライアント アクセスの編集 ダイアログでは、次の内容を編集できます：

- **igroup**名
- **igroup** の説明
- **Storage VM**名
- ブロックデバイス名
- オペレーティング システムの種類
- ホストイニシエーター

9. 「適用」を選択します。

igroupを削除する

不要になった igroup を削除します。

手順

1. "NetApp Console"にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. *FSx for ONTAP*から、*ブロックデバイス*タブを選択します。
4. 既存のigroupを表示するには、リソースタイプ イニシエーターグループ (**igroup**) を選択します。
5. ブロック デバイスのアクション メニューに移動し、*イニシエーター グループの削除*を選択します。
6. 「イニシエータグループ (igroup) の削除」ダイアログで、「delete」と入力してigroupを削除することを確認し、*削除*を選択します。

igroupのブロックデバイスを管理する

ブロック デバイス、または LUN（論理ユニット番号）は、SAN 環境内のファイル システムを備えたボリュームであり、ネットワーク経由でホストからアクセスできます。

iSCSIプロトコルを使用するFSx for ONTAPファイルシステムのブロックデバイスを管理できます。

ブロックデバイスの詳細を表示

既存のブロックデバイスの詳細はいつでも確認できます。

手順

1. "NetApp Console"にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. *FSx for ONTAP*から、*ブロックデバイス*タブを選択します。
4. ブロックデバイスのアクションメニューに移動し、*詳細を表示*を選択します。

ブロックデバイスに関する一般的な詳細情報、消費量、アクセス情報、および保護情報が表示されます。

ブロックデバイスのクライアントアクセスを管理する

igroupを作成したり、ブロックデバイスやホストイニシエータを追加または削除したりすることで、既存のブロックデバイスへのクライアントアクセスをいつでも管理できます。

手順

1. "NetApp Console"にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. *FSx for ONTAP*から、*ブロックデバイス*タブを選択します。
4. ブロックデバイスのアクションメニューに移動し、*クライアントアクセスの管理*を選択します。
5. igroupが存在しない場合は、*igroupのマッピング > igroupの作成*を選択して新しいigroupを作成し、次の手順を実行します。
 - a. ブロックデバイス名：ブロックデバイス名を入力してください。igroupに関連付けるブロックデバイスは複数選択できます。
 - b. オペレーティングシステムの種類：オペレーティングシステムの種類を選択してください。
 - c. **igroup**名：igroup名を入力してください。
 - d. **igroup**の説明：必要に応じて、igroupの説明を入力します。
 - e. ホストイニシエータ：1つ以上のホストイニシエータを入力してください。これらのイニシエータは、iSCSI認定（IQN）フォーマットに従う必要があります。
 - f. 「作成」を選択します。
6. igroupが既に存在する場合は、*igroupのマッピング>既存のigroupのマッピング*を選択して、igroupにブロックデバイスとホストイニシエータを追加または削除し、次に*マップ*を選択します。

ブロックデバイスの容量を増やす

既存のブロックデバイスの容量をいつでも増やすことができます。

手順

1. "NetApp Console"にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. *FSx for ONTAP*から、*ブロックデバイス*タブを選択します。
4. ブロックデバイスのアクションメニューに移動し、*容量を増やす*を選択します。
5. ブロックデバイスの新しい容量を入力し、単位を選択してください。
6. 変更を適用するには、*Increase*を選択してください。



ブロック デバイスのサイズを増やした後、ホスト オペレーティング システムが提供する手順に従って新しいサイズを検出し、ファイル システムを拡張します。

ブロックデバイスをクローンする

既存のブロックデバイスのクローンはいつでも作成できます。ブロックデバイスのクローンとは、元のブロッ

手順

- ## 非アクティブなブロックデバイスのデータをアーカイブする

手順

- 4

ブロックデバイスを削除する

クライアントにマップされていない、または7日間使用されていないブロック デバイスは、非アクティブなブロック デバイスです。この操作により、選択したブロック デバイスのマップが解除され、削除されます。ホスト FlexVol ボリュームにブロック デバイスが含まれていない場合、Workload Factory はそれを削除します。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. *FSx for ONTAP*から、*ブロックデバイス*タブを選択します。
4. 孤立デバイスで、*容量の表示と再利用*を選択します。
5. 「未使用ブロックデバイスの領域を解放する」画面で、データをアーカイブして容量を解放するブロックデバイスを1つ以上選択します。
6. *Delete*を選択します。

関連情報

- ["FSx for ONTAP ファイルシステム用のigroupを作成する"](#)
- ["FSx for ONTAPファイルシステム用のブロックデバイスを作成します"](#)

NetApp Workload FactoryでONTAPレベルのタグをブロックデバイスに適用

NetApp Workload FactoryのネイティブEC2ユーザーデータスクリプトを使用して、AWS EC2インスタンスのデプロイ時にブロックデバイスを自動的に作成およびタグ付けします。AWS EC2コンソールからEC2インスタンスをデプロイする際に、インスタンス起動ウィザードのテンプレートにEC2ユーザーデータスクリプトを追加してください。デプロイ後、Workload Factoryはスクリプトから収集したメタデータを使用して、ブロックデバイスにONTAPレベルのタグを適用します。これらのタグを使用すると、各ブロックデバイスをどのホストが消費しているかを確認できるため、トラブルシューティングや監査の際に、使用状況を責任のあるホストと迅速に関連付けることができます。

タスク概要

EC2ユーザーデータスクリプトは、EC2インスタンスのデプロイ時にブロックデバイスを作成し、ブロックデバイスにONTAPレベルのEC2タグを適用します。

ブロックデバイスに適用される `_EC2 tag_` には、EC2名、EC2 ID、およびEC2インスタンス内のブロックデバイスのマウントパスが含まれます。

手順

1. ["Amazon Elastic Compute Cloud の EC2 インスタンス起動手順"](#)に従って、AWS EC2コンソールのインスタンス起動ウィザードを使用します。
2. EC2ユーザーデータスクリプトをインスタンス起動ウィザードテンプレートに追加して、ブロックデバイ

スを自動的に作成およびタグ付けします。

GitHubリポジトリ FSx-ONTAP-sample-scripts にアクセスして、"[EC2 ユーザーデータスクリプト](#)"を取得してください。

3. インスタンスを起動します。

EC2ユーザーデータスクリプトは、EC2インスタンスでホストされている新しいブロックストレージデバイスにONTAPレベルのタグを自動的に適用します。

4. 既存のEC2インスタンスの場合、ユーザーデータスクリプトは再起動後にのみ有効になります。

結果

EC2タグは、関連付けられたFSx for ONTAPファイルシステム内のブロックデバイステーブルに表示されます。

関連情報

- "[NetApp Workload Factoryでファイルシステムのイニシエータグループ（igroup）を作成します](#)"
- "[NetApp Workload Factoryでファイルシステムのブロックストレージを管理する](#)"

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。